

ロシア（極東）

2005年第1四半期ロシア極東の経済状況

極東連邦管区全体の鉱工業生産高（前年同期比）は、ロシア連邦全体が3.9%増となったのとは反対に、マイナス成長を記録した。沿海地方では11.8%増とロシア全体平均を大きく上回ったのに対し、ハバロフスク地方やチュコト自治管区では大きく下回った（各々 10.1%、 47.5%）。固定資本投資（前年同期比）については、極東連邦管区の成長率は9.1%とロシア全体の9.3%とほぼ横並びとなったが、特にサハ共和国（46%増）チュコト自治管区（51.5%増）ユダヤ自治州（2.6倍）及びサハリン州（2.9倍）が目立った。小売売上高（前年同期比）に関しては、2004年第1四半期とは逆に、極東連邦管区の成長率がロシア全体平均を大きく上回った。なかでも沿海地方（19.0%）アムール州（16.3%）及びサハリン州（38.6%）が高い成長率を見せた。極東連邦管区全体としての消費者物価（前年12月末比）5.6%増は、ロシア連邦レベル（5.3%増）と大差なかったが、カムチャツカ州では12.6%増という、飛びぬけて高いインフレ率を記録することになった。実質平均賃金（前年同期比）については、極東連邦管区の平均成長率がロシア連邦全体（8.4%増）を僅かに下回った（8.1%増）が、サハリン州やチュコト自治管区では高い成長率となった（各々13.9%、11.1%）。

2004年ロシア極東の対外貿易¹

2004年ロシア極東ザバイカル地域の対外総貿易高（輸出+輸入）は、前年比32%増となり、初めて100億ドルを超えた。内訳は、輸出68億ドル（前年比20%増）輸入35億ドル（同1.6倍）であった。相手国は、アジア太平洋諸国が全体の8割以上を占め、中国が27%（前年28%）、日本が23%（同18%）、韓国が11%（同12%）、米国が5%（同6%）を占めた。

極東ザバイカル地域全体に占める主な連邦構成主体の貿易高は、沿海地方27億6,300万ドル（前年比45%増：輸出10億7,100万ドル；輸入16億9,200万ドル）ハバロフスク地方22億9,200万ドル（同14%増：輸出19億7,400万ドル；輸入3,180万ドル）サハリン州19億5,270万ドル（同61%増：輸出9,727万ドル；輸入9,800万ドル）サハ共和国17億9,900万ドル（同32%増：輸出17億4,200万ドル；輸入5,690万ドル）であった。

輸出において各部門が占める割合は、燃料エネルギー部

門（2003年36% 2004年26%）、木材・木材加工部門（同15% 23%）、金属・金属加工部門（同9% 13%）、機械・設備品部門（同5% 7%）、漁業・水産加工部門（同11% 6%）、その他（同24% 25%）であった。

輸入において各部門が占める割合は、機械・設備品部門（2004年53%）、金属・金属加工部門（同14%）、食料品部門（同9%）、繊維加工部門（同8%）、化学製品部門（同7%）、その他（同9%）であった。

対日貿易

2004年、日口間の総貿易高は88億5,000万ドル（前年比48%増）を記録し、そのうち輸出が56億9,500万ドル（同35%増）輸入が31億5,500万ドル（同1.8倍）を占めた。ロシア極東の対日貿易額も増加傾向が続いており、2004年の総貿易高は前年比1.7倍の23億1,610万ドルに達した（2003年は同65.3%増）。輸出が11億7,100万ドル（前年比33%増）輸入が11億4,600万ドル（同2.4倍）であった。主な輸出品目は原油・石油製品（37%）、木材（32%）、石炭（16%）、主な輸入品目は自動車（63%）と機械・設備品（26%）であった。

対日総貿易高の第1位は沿海地方で9億4,240万ドル（前年比2.5倍）を記録し、そのうち輸出が1億9,430万ドル（同25%増）輸入が7億4,810万ドル（同3.4倍）を占めた。第2位はサハリン州で、7億3,920万ドル（同69%増）のうち輸出が4億7,450万ドル（同62%増）輸入が2億6,470万ドル（同83%増）であった。第3位のハバロフスク地方は3億4,750万ドル（同41%増）のうち、輸出が2億6,870万ドル（同59%増）を占めたが、輸入は約8,000万ドルで前年比2.8%増に止まった。

日本からの投資

2004年、日本の極東ザバイカル地域に対する投資額は、5,730万ドルと前年の8億2,080万ドルから大幅に後退した。2003年の時点でサハリン州への投資額は日本による対ロシア極東投資の95%（7億8,380万ドル）を占めていたが、2004年には8%（440万ドル）と激減した。代わって沿海地方が日本からの投資受入額の第1位（3,810万ドルで66%）を占めるようになった（前年は2,590万ドル受入れつつも3%に過ぎなかった）。第2位はサハ共和国（630万ドルで同11%）、第3位がカムチャツカ州（550万ドルで同9%）であった。

（ERINA調査研究部研究員 伊藤庄一）

	鉱工業生産（%）					固定資本投資（%）					小売売上高（%）					消費者物価（%）					実質平均賃金（%）				
	2002年	2003年	2004年	04年1Q	05年1Q	2002年	2003年	2004年	04年1Q	05年1Q	2002年	2003年	2004年	04年1Q	05年1Q	2002年	2003年	2004年	04年1Q	05年1Q	2002年	2003年	2004年	04年1Q	05年1Q
ロシア連邦	3.7	7.0	6.1	7.6	3.9	2.6	12.5	10.9	13.1	9.3	9.1	8.0	12.1	10.3	9.6	15.1	12.0	11.7	3.5	5.3	16.0	10.3	10.9	15	8.4
極東連邦管区	0.9	4.7	7.3	4.9	1.2	8.4	37.3	13.5	38.9	9.1	13.4	10.6	9.8	7.9	13.3	15.2	12.8	11.3	3.5	5.6	20.0	12.1	9.4	13.6	8.1
サハ共和国	1.7	1.6	12.8	15.2	2.7	5.0	2.4	8.1	22.0	46.1	22.8	25.1	0.4	5.0	2.0	12.1	11.8	10.8	3.1	3.6	19.0	5.6	5.4	8.0	8.7
沿海地方	1.2	6.1	9.5	2.7	11.8	9.5	2.9	2.4	7.3	2.1	14.3	9.7	15.6	11.5	19.0	13.6	12.8	10.8	2.6	4.9	19.0	16.5	11.4	19.1	8.6
ハバロフスク地方	6.0	7.2	0.3	1.4	10.1	19.0	6.0	1.9	1.9	13.5	11.5	5.1	8.5	9.0	9.6	17.6	15.3	13.8	4.9	5.7	17.0	12.6	5.4	11.4	3.6
アムール州	0.2	6.8	2.2	5.3	4.4	23.8	11.9	10.4	39.4	18.3	3.8	4.7	16.9	15.0	16.3	12.4	15.5	12.6	5.2	6.5	27.0	11.9	10.2	10.4	7.2
カムチャツカ州	16.0	3.4	5.1	13.7	13.8	14.8	66.0	48.8	2.1	8.2	2.0	3.8	2.6	0.1	0.7	14.1	10.2	11.3	2.9	12.6	21.0	13.1	13.4	19.7	8.1
マガダン州	6.9	10.1	3.2	4.7	9.4	1.6	22.9	7.9	20.5	1.2	7.2	11.2	2.3	5.9	3.6	12.3	11.9	9.4	2.9	3.8	16.0	11.6	15.8	21.6	4.2
サハリン州	12.5	3.4	4.8	5.7	2.6	31.8	2.2倍	89.4	2.5倍	2.9倍	18.3	10.7	16.1	4.3	38.6	17.6	11.8	11.5	2.6	5.5	20.0	15.0	16.2	17.7	13.9
ユダヤ自治州	11.0	7.0	2.0	3.2	0.8	54.2	52.5	2.1倍	2.3倍	2.6倍	18.0	3.9	15.2	2.4	5.1	19.9	14.5	12.1	3.8	7.2	27.0	10.0	6.9	12.0	4.0
チュコト自治管区	20.5	17.7	9.8	0.9	47.5	2.8倍	76.0	2.0	54.1	51.5	19.3	3.3	6.3	9.5	19.3	32.7	17.0	11.1	6.5	6.6	28.0	11.2	0.9	1.7	11.1

（出所）『ロシア連邦管区の社会経済状況』（ロシア国家統計委員会）2002年・2003年・2004年・2004年第1四半期版・2005年第1四半期版。

『極東連邦管区地域の社会経済状況の基本指標』（ロシア国家統計委員会ハバロフスク支部）2003年1～12月版。

『ロシア統計年鑑2003』（ロシア国家統計委員会）

（注）消費者物価は前年12月比、カムチャツカ州はコリヤク自治管区を含む。

¹ 以下の対外貿易・投資のデータは、極東ザバイカル協会対外経済関係局（本部：ハバロフスク市）から入手した資料に基づく。尚、極東ザバイカル地域には、極東連邦管区を構成する連邦構成主体のほかにチタ州とブリヤート共和国が含まれている。